

「ブックウォーク&読書ゆうびん」

～全校読書月間の取り組み

小学校 全校 国語
「ブックウォーク&読書ゆうびん」
資料活用、読書指導

ねらい

- 読書する内容や方法を自分自身で決め、計画的に読書する。
- おすすめの本の紹介をはがきに書いて、友達などと知らせ合う。

学 習 展 開

- ① 各学年、ブックウォークで読書対象にする本をケースに入れて貸し出す。
- ② ブックウォークカードにめあての冊数を書き、約一か月間読書する。
- ③ 一か月後、めあてを達成した児童に認定証をわたす。
- ④ 読んだ本をもとに各学年に応じた書式で読書ゆうびんを書く。(3年は奥付、4年はブックリスト、5・6年は一文書き抜き)
- ⑤ 1組→2組、2組→3組、3組→1組というように、全員が受け取れるようにして宛名を書き、図書館経由で渡す。

各学年ブックウォーク & 読書ゆうびん

- 1年：むかしばなし ～おかゆのおなべ～
- 2年：アーノルド＝ローベル ～お手紙～
- 3年：世界の民話・昔話 ～三年どうげ～
- 4年：新美南吉～ごんぎつね～
- 5年：重松清・上橋菜穂子・今森光彦・さくらももこ
- 6年：小川未明・坪田譲治・浜田広介・壺井栄

新 美 南 吉 作 品

お す す め リ ス ト

- 1 ()
- 2 ()
- 3 ()

理 由 等

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は、ブックウォーク、認定証、読書ゆうびんの書式について担任と相談し、準備物を整えて進行する。読書ゆうびんの奥付、ブックリスト、紹介文の指導をする。
- 学校司書は、ブックウォーク対象の本、40冊程度をケースに入れて学年に貸し出す。
- 担任は、読書指導をしてブックウォークのめあてを達成できるように声かけや支援をし、読書ゆうびんの書き方を指導する。

★指導のポイント

- ◆ ブックウォークのめあてを立て、読み始めるときは、ブックトークをしてイメージさせてから本選びをさせると良い。
- ◆ 読書ゆうびんに書くときは、授業前に本を決めておくと良い。
- ◆ 市立図書館から借りるときは、4週間で返却・更新が必要なことに留意する。

資料

「ジャックとまめの木」(講談社)「ふたりはいっしょ」(文化出版社)「天の火をぬすんだウサギ」(評論社)「でんでんむしのかなしみ」(新潮社)「さすらい猫ノアの伝説」(講談社)「獣の奏者」(講談社)「赤い蠟燭と人魚」(偕成社)等